

科学技術政策について

一三一九字

私、この委員会に所属して初めての質問でございますが、田中大臣が科学技術庁長官に御就任をされた。閣内唯一の女性大臣、マスコミにも大変うるさいくらいにつきまとわれて、大臣としては御迷惑な部分もあるかと思うのですが、田中大臣が科学技術庁長官に御就任いただいて大変よかったです、こう思っております。それは、長官をされて、科学技術というものが国民の皆さん方に大変近い位置でもって受け取られるようになった、このことは私は大変いいことであると思っております。

また、私も議員になりましたから十年過ぎて初めて科学技術委員会に所属をさせていただきました。従来は文教関係が長かったものでございますから、同じ科学技術に関係するといいますが、どちらかというと文教の立場から科学技術というものを見ておりました。この委員会に所属をして全く違った新しい目を開かせていただいた。このように私自身も大変うれしく思っているわけでございます。

大臣、御就任をされて三カ月たったわけでございますが、その新鮮なところでもって率直な御感慨を最初にお伺いしておきたいと思えます。

田中國務大臣 お答え申し上げます。

少しお褒めにあずかったかなと思っておりますが、私自身は、まだ日にちがたっておりませんので、基本的なことをマスターして、

また、現場第一主義ということで立候補をし、当選させていただいておりますので、いろいろな施設を拝見し、そして、いろいろな方々の幅広い忌憚のない御意見を伺ってから勉強していくべきであろうというふうに考えております。

今考えておりますことは、科学技術庁というやはり理科で、ハイテクノロジーで難しいことというふうな考え方を一般の方も持つておられると思えますし、私なんかその最たる人間だったわけでございます。政治家を志したときの私の直接のきっかけは、厚生問題であり農林問題であり、また文教問題等々でございますけれども、科学技術がそうしたことすべてにリンクしている問題である。何度も言われておりますように、生活密着関連の事柄でございます。そういうことを今まで知りませんでした。

ですから、原子力の利用でありますとか、宇宙開発、海洋開発等専門的なことは十二分にまだ理解できずにありますけれども、それが派生的にはかの分野にも影響しているんだということは大変すばらしいことだということを認識いたしまして、今感動いたしております。

臼井委員 私は、今大臣のおっしゃるとおり、科学技術予算、もちろん科学技術委員会所轄あるいは文部省所轄が多いわけでございますが、その他の省庁にもまんべんなくそれぞれ研究していらつしやる部門がありまして、細かく見てみますと、科学技術というのはまさに日本の国をしっかりと支えているということがわかるわけでございます。

この所信を拝見させていただきまして幾つか気がついたところがあるわけでございますが、その中で少しく六号の部分が長いのではないかと、私はこう率直に思いました。もちろん私もとりまして、きく六号のいわば失敗といえますか、そういうものは大変シヨックでもございましたし、それを今後大きな糧として、さらにしっかりと国産のそういったロケットあるいは衛星等を開発していく大きな参考になると思うわけでございますが、ちょっと長過ぎるのではないかな、分量が制限されておりますから。

反面、私が一つ気がつきましたのは、近江長官のときと比べますと国際貢献、いわば科学技術を通しましての国際貢献という部分では、最後のまとめの部分でちゃんと書いていただいておりますが、いま一つはつきりしないところが私自身ありますので、この際その御決意等につきましてお伺いしておきたいと思っております。

田中中国務大臣 国際貢献は本当に重要なことでございまして、近江前大臣が大変御尽力をなさったところでございます。

やはり基礎的な研究というふうなことで、ヒューマンリレーションズ、そのほかいろいろなお互いに相互に力を出せる部分がたくさんございますから、それがまさしく原子力の発電以外の面での利用ということになると思えます。先ほど来、午前中も申し上げましたけれども、環境問題にいたしましても、農業関係の食糧の問題に関連いたしましても、あるいは医療とか、そういう面でお互いに基礎的な研究、人的な交流を図っていくというふうなことに努めたいと思っております。

白井委員 私、先般ヨーロッパのほうに視察をさせていただいて、先ほど大臣からお話のございましたいろいろな日本の先進技術というものが、国際的にも私どもの知らないところでもって大変評価を受けているということも知ることができました。

また、かねてから私もアメリカ等と協力をしております宇宙ステーション計画でございましてか、あるいは国際熱核融合実験炉、ああいった問題、ITERの施設もセンターを視察させていただきました、国際貢献という面で大変日本は重要な役目を担っているということがわかったわけでございますが、ぜひともそういう点につきましては、これからも日本の科学技術力というものを大いに世界のために使うための努力をしていただきたいというふうに望んでおります。

この所信表明にも書かれてございました未来担当大臣、大変すばらしい発想だし、なかなか響きも快い響きでございました。そしてその中に、知的創造力を生かす、こういうふうなお話もございました。私も、科学技術を知るにつけて、やはり未来への夢づくり、創造であるということがあると思うのでございます。そういう意味で、先ほど申し上げましたとおり、日本の科学というのは大変世界的な各分野で先端を走っているということも事実でございまして、そこで、大臣には科学技術、未来担当大臣というふうな発想、あるいは未来の夢づくり、こういう意味で、将来に向けての何かこういうふうなことであったらいいなという夢といいますか、願望といいますが、そういうものがもしおありになりましたら、この際お

聞かせたいと思います。

(注) 誤読 国際熱核融合(x炉) 実験炉